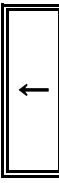


評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島八丁堀開発計画	階数	地下1F,階地上14F
建設地	広島県広島市中区八丁堀14番1,11	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集会所,ホテル,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2015年10月5日
敷地面積	1,002 m ²	作成者	鈴木 良典
建築面積	883 m ²	確認日	2015年10月7日
延床面積	8,852 m ²	確認者	横山 輝明



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.3</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 3.4</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.5</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>屋内の外部に面する部分には断熱材を採用した。/ トップライトにより自然採光システムを計画した。/ 全館LED照明の採用を行い、便所は人感センサを設置し、ランニングコストを低減する。空調設備は高効率機器を採用する。/ 各テナント毎に計量単位を分け、個別に計量が可能な計画としている。/ 内装仕上げ材を乾式工法とし、躯体と仕上げが容易に分別できる構造とした。/ 一般的な建物よりも断熱性能を高め、高効率機器を採用した。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 3.0</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>12階屋根に屋上緑化を行い、熱負荷低減に配慮した。/ 附置義務台数を満足する駐車場を計画した。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.5</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>空調換気設備の屋外のダクト類は全てガルバリウム鋼板を採用し、耐候性に配慮した。/ 空調・給排水配管の材質は更新必要間隔の長いものを中心に選定した。/ 基本的に屋外に設備配管、配線類を通すことで、更新や修繕の際の工事が比較的容易になるように配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される